



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社リプロセル 上場取引所 東  
 コード番号 4978 URL https://www.reprocell.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 周史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 片山 浩美 TEL 045-475-3887  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	189	1.4	△192	ー	△127	ー	△129	ー
26年3月期第2四半期	186	ー	△43	ー	△75	ー	△75	ー

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △128百万円 (ー%) 26年3月期第2四半期 △75百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△2.65	ー
26年3月期第2四半期	△1.85	ー

※ 当社は、平成25年9月1日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	6,928	6,244	90.1	124.79
26年3月期	5,418	5,195	94.7	107.34

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,244百万円 26年3月期 5133百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
27年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
27年3月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	699	51.8	△298	ー	△188	ー	△192	ー	△3.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）Reinnervate Limited

（注）詳細は、添付資料「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	50,040,050株	26年3月期	48,400,050株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	250株	26年3月期	250株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	48,971,166株	26年3月期2Q	41,074,680株

※当社は、平成25年9月1日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成26年11月28日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 営業外収益並びに営業外費用の発生に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞したことを契機として、iPS細胞の研究及び実用化促進へ向けた機運は高まっております。一方、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策等の効果に対する期待感により設備投資の増加や雇用・賃金の持ち直し等の傾向が見られたものの、消費税率の引き上げや円安による原材料等の輸入コストの上昇により、景気の回復は緩やかなものに留まっております。また、iPS細胞及び再生医療は政府の成長戦略の一つとして掲げられており、iPS細胞に関連した基礎及び臨床の研究者が増加しております。さらに、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」並びに「薬事法等の一部を改正する法律」の施行日を平成26年11月25日に控え、再生医療の事業化に向けた気運が高まりつつあります。

このような状況の下、当社グループにおいては、iPS細胞事業の主力製品である研究試薬製品及び細胞製品について、研究開発活動を強化しております。中でも、新たに連結子会社化した、3次元培養デバイスの開発・製造・販売を手掛けるReinnervate Limited及びヒト生体試料のバンキング・提供を行うBioServe Biotechnologies, Ltd.との技術シナジーの追求による技術競争力の強化を図っております。Reinnervateの革新的な3次元培養技術と当社のiPS細胞技術との組み合わせにより、iPS細胞製品のさらなる高機能化・高品質化を見込んでおります。また、BioServeを通じてアルツハイマー病等、様々な患者ボランティアの細胞を入手することが可能となり、様々な患者由来の疾患iPSモデル細胞の提供を企図しております。営業・マーケティング面に関しても、各社製品の相互販売による製品ラインナップの充実、相互の顧客基盤の活用による海外販路拡大により、グローバル展開の加速を図っております。また、国内外の未上場のiPS細胞・再生医療関連のバイオベンチャーを投資対象とする、新生銀行との共同ベンチャーファンド「Cell Innovation Partners, L.P.」の運営が開始されており、世界中の革新的な技術シーズの確保と育成、そして連携を図り、当社の再生医療の実現と競争力の強化に向けた取り組みに注力しております。

一方、臨床検査事業では、主力検査である抗HLA抗体検査の検査数を順調に伸ばすとともに、新たな臨床検査項目の導入に向けた取り組みを行うと共に、一般社団法人 日本血液製剤機構が実施する臨床試験に係わる臨床検査測定の実務業務を開始しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は189,297千円（前年同四半期比2,630千円の増加）、営業損失は192,061千円（前年同四半期比148,427千円の増加）、経常損失は127,284千円（前年同四半期比51,818千円の増加）、四半期純損失は129,591千円（前年同四半期比53,717千円の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① iPS細胞事業

研究試薬製品は、主力製品であるPrimate ES cell mediumを中心として、大学及び公的研究機関を中心に継続的に販売実績を積み重ね、さらに新規顧客も増加傾向にあり、売上は堅調に推移しております。一方、細胞製品については、心筋、神経、肝臓、アルツハイマー病神経細胞を販売しておりますが、製薬企業を中心として着実に顧客層が広がっております。また、新たに連結子会社化した3次元培養デバイスの開発・製造・販売を手掛ける英国企業 Reinnervate Limitedやヒト生体試料のバンキング及び提供を行う米国企業 BioServe Biotechnologies, Ltd.の海外販路の活用並びに各社製品の相互販売に向けた取り組みがスタートしております。

この結果、売上高は163,484千円、セグメント利益は19,080千円となりました。

#### ② 臨床検査事業

肝臓移植や造血幹細胞移植の分野への適用の広がりを見せている抗HLA抗体検査（スクリーニング及びシングル抗原同定検査）を主力として、日本全国の100施設以上の病院から検査を受注しております。また、腎移植における脱感作療法としての治験薬の有効性を確認することを目的として一般社団法人 日本血液製剤機構が実施する臨床試験に係わる臨床検査測定の実務業務が開始され、当社は本治験における脱感作確認（ドナーに対する抗体の有無）の検査を担当しております。こうした検査業務を通じ、同一患者様の全ての検査をまとめて行うことにより整合性のとれた確度の高いデータを提供することで顧客ニーズに応え、売上は堅調に推移しております。

この結果、売上高は25,813千円、セグメント利益は5,114千円となりました。

なお、管理部門にかかる費用など各事業セグメントに配分していない全社費用が151,479千円あります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べて463,313千円増加し、5,806,725千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,566,127千円減少した一方で、有価証券が1,999,741千円増加したことなどによります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1,046,784千円増加し、1,122,033千円となりました。これは主に、無形固定資産が1,027,719千円増加したことなどによります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末に比べて458,279千円増加し、593,846千円となりました。これは主に、買掛金が57,500千円、未払金が127,917千円、短期借入金が247,066千円増加したことなどによります。固定負債は前連結会計年度末に比べて2,528千円増加し、90,389千円となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,244,523千円となりました。主な内訳は、資本金が3,254,124千円、資本剰余金が4,137,568千円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて565,620千円減少し、4,610,608千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は81,998千円(前年同四半期は12,304千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失127,284千円、補助金収入51,273千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,662,423千円(前年同四半期は1,947千円の使用)となりました。これは主に有価証券の取得による支出1,000,000千円、連結範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出649,234千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は1,169,183千円(前年同四半期は2,476,784千円の獲得)となりました。これは主に第三者割当による株式の発行による収入1,230,983千円によるものであります。

(3) 営業外収益並びに営業外費用の発生に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきまして、為替相場の変動により営業外収益として為替差益26,789千円を計上すると共に、営業外費用として株式交付費11,187千円、投資事業組合運用損3,496千円を計上しております。平成26年11月12日付けで「平成27年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますが、当該営業外収益並びに営業外費用計上による当社通期連結業績予想へ与える影響につきましては、当該業績予想の修正要因とはしておりません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期連結業績予想について、平成26年5月26日に発表しました業績予想を平成26年11月12日に修正しております。詳細につきましては、平成26年11月12日発表の「平成27年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、Reinnervate Limitedの株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第2四半期連結累計期間において、BioServe Biotechnologies, Ltd.の株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

また、当第2四半期連結累計期間においてはReinnervate Limited及びBioServe Biotechnologies, Ltd.の2社の貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書において同2社の業績は含まれておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,170,835	3,604,707
売掛金	67,225	76,988
有価証券	—	1,999,741
商品及び製品	60,948	60,547
仕掛品	1,111	21,672
原材料及び貯蔵品	7,358	10,046
その他	35,931	33,020
流動資産合計	5,343,411	5,806,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,491	10,746
機械装置及び運搬具（純額）	813	2,269
工具、器具及び備品（純額）	6,039	16,846
有形固定資産合計	16,344	29,862
無形固定資産		
特許権	2,256	1,947
のれん	—	1,028,122
その他	597	504
無形固定資産合計	2,854	1,030,574
投資その他の資産		
投資有価証券	50,050	52,993
その他	6,000	8,603
投資その他の資産合計	56,050	61,597
固定資産合計	75,249	1,122,033
資産合計	5,418,661	6,928,759
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	48,779	106,280
短期借入金	—	247,066
未払金	20,445	148,363
未払法人税等	12,267	8,132
賞与引当金	3,943	5,368
その他	50,129	78,635
流動負債合計	135,566	593,846
固定負債		
長期借入金	80,000	80,000
資産除去債務	6,688	6,743
その他	1,172	3,645
固定負債合計	87,860	90,389
負債合計	223,427	684,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,634,084	3,254,124
資本剰余金	3,517,528	4,137,568
利益剰余金	△1,019,564	△1,149,155
自己株式	△915	△915
株主資本合計	5,131,134	6,241,622
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,300	2,900
その他の包括利益累計額合計	2,300	2,900
新株予約権	61,800	-
純資産合計	5,195,234	6,244,523
負債純資産合計	5,418,661	6,928,759



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
製品売上高	157,695	159,338
役務収益	28,972	29,958
売上高合計	186,667	189,297
売上原価		
製品売上原価	70,166	76,253
役務原価	11,093	13,781
支払ロイヤリティ	1,364	899
売上原価合計	82,623	90,933
売上総利益	104,044	98,364
販売費及び一般管理費		
研究開発費	44,881	71,378
その他の販売費及び一般管理費	102,796	219,047
販売費及び一般管理費合計	147,677	290,425
営業損失(△)	△43,633	△192,061
営業外収益		
受取利息	90	2,361
補助金収入	11,276	51,273
為替差益	-	26,789
その他	1,106	119
営業外収益合計	12,473	80,544
営業外費用		
支払利息	161	914
株式公開費用	20,440	-
株式交付費	23,477	11,187
投資事業組合運用損	-	3,496
その他	226	167
営業外費用合計	44,306	15,766
経常損失(△)	△75,466	△127,284
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,466	△127,284
法人税、住民税及び事業税	533	2,218
法人税等調整額	△125	89
法人税等合計	408	2,307
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,874	△129,591
四半期純損失(△)	△75,874	△129,591

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,874	△129,591
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	828	600
その他の包括利益合計	828	600
四半期包括利益	△75,045	△128,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,045	△128,990
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,466	△127,284
減価償却費	5,234	5,050
補助金収入	△11,276	△51,273
賞与引当金の増減額(△は減少)	755	1,413
受取利息	△90	△2,361
支払利息	161	914
為替差損益(△は益)	△1,113	△12,311
株式公開費用	20,440	-
株式交付費	23,477	11,187
投資事業組合運用損益(△は益)	-	3,496
売上債権の増減額(△は増加)	25,427	10,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,193	△3,761
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,920	13,010
未払金の増減額(△は減少)	6,283	27,077
その他	△12,234	△41
小計	△39,516	△123,915
利息の受取額	90	1,383
補助金の受取額	28,898	41,357
利息の支払額	△161	△914
法人税等の支払額	△1,615	△1,012
法人税等の還付額	-	1,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,304	△81,998
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,962	△13,189
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△649,234
その他	15	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,947	△1,662,423
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	2,443,961	1,230,983
新株予約権の行使による株式の発行による収入	52,839	-
新株予約権の買入消却による支出	-	△61,800
株式の発行による支出	△1,629	-
株式公開費用の支出	△17,472	-
自己株式の取得による支出	△915	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,476,784	1,169,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,742	9,618
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,464,274	△565,620
現金及び現金同等物の期首残高	249,368	5,176,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,713,642	4,610,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年6月27日及び平成26年9月4日を払込期日とする有償第三者割当による新株発行による払込みを受けました。また、当第2四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ620,040千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,254,124千円、資本剰余金が4,137,568千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	iPS細胞事業	臨床検査事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	162,834	23,832	186,667	—	186,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	162,834	23,832	186,667	—	186,667
セグメント利益	30,015	9,685	39,700	△115,166	△75,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△115,166千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	iPS細胞事業	臨床検査事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	163,484	25,813	189,297	-	189,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	163,484	25,813	189,297		189,297
セグメント利益	19,080	5,114	24,195	△151,479	△127,284

(注) 1. セグメント利益の調整額△151,479千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、Reinnervate Limited及びBioServe Biotechnologies, Ltd.の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「iPS細胞事業」において45,871千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「iPS細胞事業」セグメントにおいて、Reinnervate Limited及びBioServe Biotechnologies, Ltd.を子会社化したことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,028,122千円であります。